

レクリエーションかながわ スコレ

第65号

発行日 平成18年10月10日
 発行 特定非営利活動法人
 神奈川県レクリエーション協会
 編集 広報委員会
 事務局 〒221-0855
 横浜市神奈川区三ツ沢西町3-1
 神奈川県立スポーツ会館内
 電話 (045) 320-2430
 F A X (045) 320-0640
<http://www.kanagawa-rec.or.jp/>

やってよかったしく活動 学んでよかったしく運動 もってよかったこの仲間

「今、県立体育センターでは」

神奈川県立体育センター所長 佐々木 悦子



年齢層の方々が楽しく進んで、運動やスポーツに取り組むことのできる環境のきめ細かい整備と気運の醸成が重要であると考えます。

スポーツの秋を迎え、県内各地においてスポーツ・レクリエーションに係わるイベントが多数開催されており。

NPO法人神奈川県レクリエーション協会関係者の皆様には、日頃より体育センター事業へのご協力を始め、県民のスポーツ・レクリエーション活動の普及・啓発にご尽力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、現在の私たちを取り巻く社会状況は、都市化や少子高齢化の進展とあいまって、子どもたちの体力・運動能力の長期的な低下傾向やメタボリックシンドロームへの危機感、ひいては医療保険費の増大など、子どもから高齢者に至るまで健康や体力にかかわるさまざまな課題が生じております。

これらの課題を解決するためには、小・中・高等学校の保健体育授業の充実はもちろんのこと、あらゆる

こうした考えのもと、体育センターでは、平成16年度に策定された県のスポーツ振興指針である「アクティブかながわ・スポーツビジョン」の中の、「スポーツのあるまち・くらしづくり」を推進していくため、保健体育教員やスポーツ指導者など人材の育成、医科学サポーターなどの調査研究、総合型地域スポーツクラブなど、地域におけるスポーツ活動を

組織の育成・支援、さらにスポーツ情報の発信・提供などに、今後も鋭意取り組んでまいります。

特に、子どもたちの健康・体力づくりは喫緊の課題ですので、早起き・朝ごはんを始めとする生活習慣の改善と共に、幼児や小学生の親子活動や外遊び、運動の奨励に一層の力を入れて取り組んでいきたいと考えております。

そして、これらの活動には是非とも、スポーツ・レクリエーション指導者の皆様のお力をお借りしたいと願っております。

最後になりましたが、NPO法人神奈川県レクリエーション協会の今後の益々のご発展をご祈念いたします。



特別寄稿

内外から見た県レク協会

副理事長 桑島 豊



私が県・レクリエーション協会にお世話になるきっかけは思わぬ事からでした。当時私は長いサラリーマン

生活から解放されて、これから自由の時間を如何に過ごそうかと考えている処へレク協会に就任したての森事務局長が（親戚筋にあたる）病に倒れ、代わりを引き受けてもらえないか、との話を頂き急遽、当時の池端理事長に引き合わせて頂き今日に至った次第です。

レクリエーションと言う言葉はよく聞いておりましたが、それを仕事としてとらえるには全く未知の世界でした。就任間もなく関東ブロック大会が有り理事長に連れられて出席しましたが何の話をしているのか全く分からず帰ってきたものです。

それからは一つ一つが今までの職業で経験したことがない事ばかりでしたが、事務局の林さんや県職員の方々の助言を得ながらスポレク大会を立ち上げたりしました。今まで県レク協会の事務局長に一民間企業を終えた者が業務に当たることはなかったとのこと、それならば今まで私が経験してきたことが少しでも役立てばとの思いで過ごしてまいりました。この協会に入ってから一番感心したことは、私が今まで行ってきたことは如何に会社に利益をもたらすか又、顧客にどの様なサービス情報を提供できるか、そしてその利益を如何に我々に配分して貰えるかの積み重ねでしたが、レクに携わる方達とお会いして、その方式がまるで違う世界

であることが分かりました。皆さんご自分で経験してきたこと、学んできたことを如何に多くの方に伝えて行くかを、真剣に取り組んでいる姿に接して感心しました。それは今まで私が第一と考えていた利益とは無縁で、職業とは別にご自分の求める道を社会に奉仕する姿でした。

継続して事務局をお受けすることになり、多少レク活動が理解できるようになって来ましたので、持ち前の営業精神を発揮して機会があれば何処でも積極的参加したり、又、事務局に集まってくる各情報を迅速に伝えること等で各協会の方達と接触すること、お顔と名前がよく分かるようになって来ました。

レク協会としても何か新しい取り組みが出来ないかとの思いがあり、若木理事長の発案によるシンポジウムや著名人の講演開催に対して米軍キャンプでのレク関東大会や読売ウォークラリー等を行う事が出来ました。

任期終了時に更にレク協会へのお手伝いのお話を頂き今まで経験した事が少しでも役に立てればとの思いで、諸先輩を差し置いて副理事長という名で参加させて頂きました。

来年は県レク協会50周年との事で一つの節目になります、今後は独立法人として生きる為に、新たな取り組みを行う事が必要と思います。

これまで育てた多くの指導者が県レクに行けば、何か活動する機会があるのではないかと、事務局に何時も尋ねて来れるようになることが理想的な県レク協会の姿だと思います。それにはまず運用資金作り等困難な問題があり

ますが、県レク発展のために皆で考えなければならぬと思います。最後に思わぬきっかけから沢山のお

専門委員会のアドバイザーに就任して

県レク協会理事 井上 桂

愛川町レク協会の井上桂と申します。今回委員長会議のアドバイザーを仰せつかりました。微力ではありますが、委員会活動のお手伝いをさせて頂きたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

県レクの中で、委員会の活動は縁の下力持ちです。表に出てくることはあまりありませんが、各委員さんは仕事、家庭生活あるいは他のボランティア活動と調整をしながら、日々委員会活動のために努力をしておられます。

私自身も、昭和六十三年度から平成十五年度まで、四つの委員会に所属させて頂いてきました。十六年の間には、楽しいことばかりではありませんが、素敵な仲間との出会いがあり、たくさんのすばらしい経験をさせて頂いたことができました。地域での活動にもプラスになりましたし、仕事でも生かせる事はたくさんありました。縁の下力持ちを自認できたのも、こうした事がたくさんあったからだと思います。

時代によって委員会構成、委員会の使命、委員会のメンバーも変わってきています。しかし、変わらないのは、県レクが県民の皆さんや会員の皆さんにとって、頼りがいのある良い組織である様にとの願い。そして、委員の皆さんの情熱が委員会活動を支えている事だと考えています。どうぞ、各委員の皆さんのご苦勞を感じていただき、皆さんからもお知恵やお力をいただけ

仲間と出会えたことに感謝します。此れからも宜しくお願い致します。

ればと思います。

私事ですが、私がレク活動に入ったきっかけは、昭和五十年に地元で行われたレクスクールに行ったのがきっかけでした。ジャンケンをしたり、手を取り合ってダンスをしたりと毎回楽しい時間を過ごしました。この楽しさを皆さんに届けようとレククラブを結成したのです。このクラブの活動が年々大きくなり、幾つかの団体を組織したり、支援したりと、今のような活動に広がってきました。ここでも言えることは、「組織は人なり」、組織はその構成員がつくっていると言うことです。

レク活動が、地域協会や種目協会競技、領域団体のそれぞれの願いや目的に沿って、皆さんの力で支えられ、ますます充実するよう願っています。そして、その時のキーマンがあなた自身であることを忘れないでください。





事業アルバム

かながわスポーツレクリエーション大会

参加者 男 541名 女 947名 計 1,488名

とき 8月6日(日) ところ 神奈川県立体育センター

湘南会場





チャレンジ・ザ・ゲーム 2006

とき 7月1日(土)

ところ 県立スポーツ会館

参加団体

参加者 計 73名

INかながわ



第1回

事業アルバム

公認指導者フォローアップセミナー

とき 9月3日(日)

ところ 県立体育センター

テーマ あそびごころ理論と実践



全国レクリエーション大会旗が “うぐいす”の青森から

第60回全国レクリエーション大会INあおもりは、9月16日～18日まで青森県青森市を主会場に全国から約2万人の参加者を集めて開催されました。

大会旗は18日ばるるプラザ青森で行われた閉会式のなかで、見事な指笛でうぐいすを奏する青森県レク協会塩谷彰宏会長から日本レク協会川村皓章会長へ返還され、川村会長から、神奈川県レク協会佐藤誠治会長へ引き継がれました。

佐藤会長は「3回目となる神奈川開催、多くの参加者の思い出に残るような神奈川らしい大会を用意して皆様をお待ちしています。」と力強い挨拶があり、その後県内紹介ビデオが流され、リレーステージ「カモメの水兵さん」へ移りました。

女性5人と男性4人が踊る“カモメの水兵さん”場内からかわいい……?との声も聞かれ、曲が終わると「来年はかながわで会いましょう」の横断幕が出され終了しました。

レクの風 カモメがはこぶ 全国へのスローガンの下、2007年11月2日～4日まで開催される全国大会、期待・感動・出逢いの3日間にあなたもぜひ参画してください。

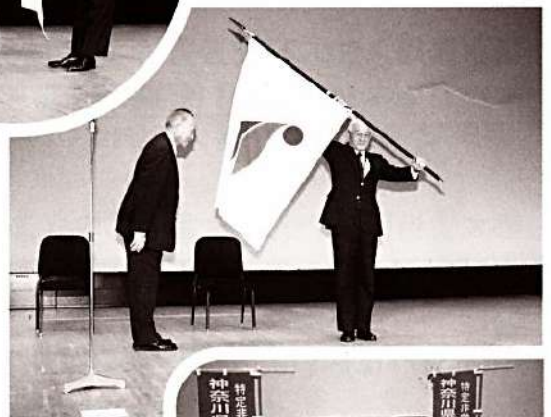


“カモメ”の神奈川へ 引き継がれました

●決意を語る佐藤会長（後方左 塩谷青森県レク会長、右 川村日レク会長）



●日レク川村会長から大会旗を引き継ぐ佐藤会長



●リレーステージ カモメの水兵さんを踊る神奈川県レクメンバー



●リレーステージ かながわで会いましょう



●青森県レク協会塩谷彰宏会長の奏する見事な指笛による“ウグイス”



●神奈川レクコーナー



第61回

ボランティアスタッフ募集

全国レクリエーション大会 IN かながわ

期待・感動・出逢いの3日間にあなたも参画しませんか

神奈川県で3回目の開催となる全国レクリエーション大会が、来年(平成19年)11月2日(金)~4日(日)神奈川県内各地で開催され、全国・県内から多くの方々の参加が予想されます。

ついては、レクリエーション運動に関わるみなさまお一人おひとりにぜひ参画いただき、ともに働き、この運動の使命を多くの人に伝えてみませんか。みなさまのご応募心よりお待ちしております。

大会プログラム 11/2 金 総合開会式・交歓の夕べ

11/3 土 研究フォーラム・種目別全国交流大会

11/4 日 研究フォーラム・種目別全国交流大会・閉会式

予定

11/3 土 ~ 11/4 日 特別行事・特別協賛行事・協賛行事(予定)

● ボランティアスタッフ応募規定

活動の内容(予定)

■ 企画運営スタッフ(交通費・報酬等はありません)

H18年11月~H19年11月
《企画運営等》

各部会の企画・運営への協力

総務・企画、広報、式典、特別行事等、研究フォーラム等での企画運営への支援

■ 事務局スタッフ(交通費・報酬等はありません)

H18年11月~H19年11月
《事務局への支援協力》

各種事務処理

大会へ向けての各種事務作業の支援(文書作成・発送作業等)

■ 大会当日スタッフ(大会当日の昼食・ユニフォームの支給予定・イベント保険加入)

H19年11/1(木)
《前日準備》

配布物等の準備、会場設営等

記念品・プログラム等の袋詰め作業、開会式会場等設営準備

H19年11/1(木)~2(金)
《歓迎・案内》

駅・会場周辺等での案内

参加者への交通案内・宿泊場所、各種会場等の案内

H19年11/2(金)~4(日)
《当日運営》

会場での案内

参加者受付・会場整理・誘導等 来賓、出演者、迷子、託児等のお世話 体の不自由な方の援助等

応募条件 16歳以上の方で企画運営スタッフは部会等会議に出席できる方、事務局スタッフは事務局へ来られる方、大会当日スタッフ希望者はH19年9~10月頃に一日程度開催する事前研修会に参加できる方。

その他 大会当日の昼食、ユニフォーム支給予定、イベント保険に加入します。
交通費等の実費は自己負担をお願いします。レク・インストラクター現場実習事業参加、指導運営スタッフ参加の単位認定となります。

応募方法 別紙申込書にご記入のうえ、郵送またはFAXしてください。

応募締切 平成18年11月17日

応募先・問い合わせ先 〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町3-1

神奈川県立スポーツ会館内 第61回全国レクリエーション大会INかながわ準備委員会事務局
TEL: 045-314-5965 FAX: 045-320-0640

第61回 全国レクリエーション大会

大会スローガンおよび種目別全国交流大会種目・会場が決定

第61回全国レクリエーション大会INかながわ第3回準備委員会が、去る8月22日（火）横浜市開港記念会館で開催されました。はじめに「第2回準備委員会の書面開催結果」「大会スローガン」「宿泊業務等にかかる業者の選定」について報告がありました。大会スローガンは応募総数157作品の中から、最優秀作品（1点）ならびに優秀作品（2点）の決定に至るまでの過程や選考方法について、準備委員会事務局長から具体的に説明されました。なお最優秀作品は大会宣伝用のチラシや募集要項、また大会プログラムの表紙や幟などにも印刷されます。

最優秀作品

レクの風 カモメがはこぶ 全国へ

渡辺 茂さん（新潟県）

優秀作品

遊ぼうよ 海風・山風・レクの風

戸田ちあ子さん（相模原市）

優秀作品

きて、みて、ふれて楽しんで、ワクワクレクのかながわへ

浅見 仁さん（横浜市）

審議事項は「種目別全国交流大会種目及び会場」「準備委員会補正予算」について準備委員会事務局長から説明があり、原案どおり承認されました。

種目別全国交流大会種目及び会場については以下のとおりです。

一日開催の種目及び会場

平成19年 11/3 ㊦

屋内

フォークダンス

県立体育センタースポーツアリーナ

スクエアダンス

川崎市とどろきアリーナサブアリーナ

ラウンドダンス

横浜市平沼記念体育館

レクリエーション卓球

横浜文化体育館

3B体操

川崎市とどろきアリーナ

パドルテニス

藤沢市秩父宮記念体育館

屋外

ペタンク

県立体育センター

タッチラグビー

川崎市とどろき第1・第2運動広場

オートキャンプ

県立秦野戸川公演

ネイチャーゲーム

根岸森林公園

平成19年 11/4 ㊦

屋内

日本民謡

県立体育センタースポーツアリーナ

レクリエーションダンス

川崎市とどろきアリーナサブアリーナ

スポーツチャンバラ

横浜文化体育館

ユニカール

横浜市神奈川スポーツセンター

ドッジボール

川崎市とどろきアリーナ

ボールルームダンス

藤沢市秩父宮記念体育館

インディアカ

横浜市平沼記念体育館

屋外

ティーボール

県立体育センター球技場（クレーコート）

二日開催の種目及び会場

平成19年 11/3 ㊦

屋内

ダーツ

鎌倉武道館

~4日

屋外

グラウンドゴルフ

県立体育センター球技場（ローンコート）

ターゲット・バードゴルフ

県立体育センター陸上競技場

シャトルボール

川崎市とどろき補助競技場

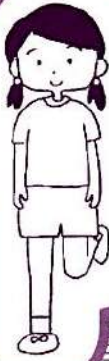
転ばないための運動

製作：大磯町 監修：橋高靖子

いつまでも若さを保つために
手軽な運動をご紹介します。
ぜひ、お試しください。

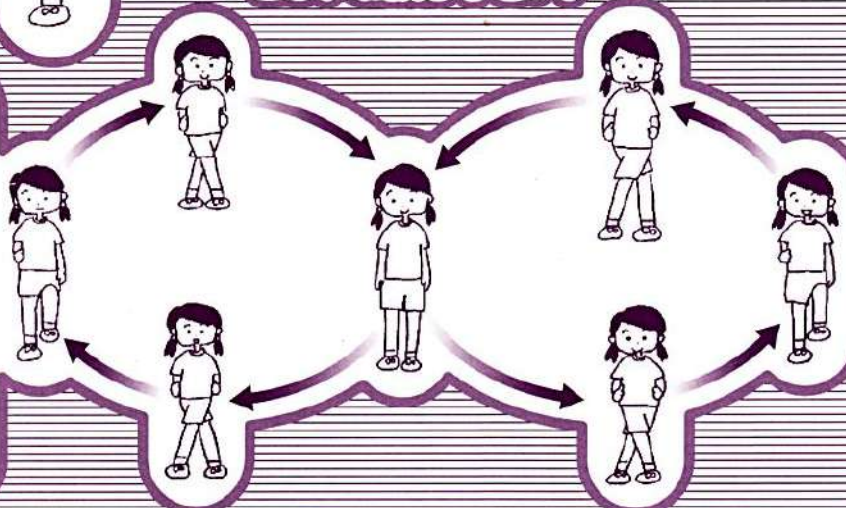
運動を
する前に…
①

片足を上げる
▼
この感覚を覚えておく



回数
2~10回
程度
②

- ① 10歩で自分のまわりで円を描く
(顔はまっすぐ前面を向いたまま)
 - ② 再度、片足をあげる
- ▼
運動前と後の「軸足のフラフラ度」
を比較してみる
- ▼
運動した後の方がしっかりした
感じになる



地域の方々に運動を通して「楽しいな」「からだにいいな」と感じていただけるような場を作りたい、という思いから少しずつ活動を始めて十年ほどが経ちました。

現在は主に小学生にはグループ活動を通して基礎体力づくりや仲間づくり、おとなの方々（年齢問わず）には健康体操、肩こり腰痛予防体操などの活動をしています。

小学生を対象とした活動の一つは「子どもの居場所づくり・地域子ども教室」の一環として行なわれています。毎週小学校の体育館をお借りして、からだを動かすことを中心に自らが「楽しい」「やろう！」と思えるように、また、「仲間と一緒に活動しているんだ！」ということが意識できるような活動を行なっています。キンボールなど比較的に新しいスポーツにも挑戦しました。しかし活動中は「相手の話しは聞こうね」「そんなことされたらどう思う?」「そんなことさすればいいくないことばばかりが出てしまい、「ふー!」と溜息をつくこともしばしばです。でも、子どもたちはいつも何かに挑戦したくてうずうずしています。そしてほんの小さなきっかけで、それがプラスの方向へ大きな力を発揮します。彼らも常に真剣なのです。そんな姿を見てしまうとまた「子ども

健康運動指導士 レクリエーションインストラクター 安江千佳

【編集員から一言】
元県レク事務局の
安江さんですヨ!



たちと一緒に挑戦しよう!」と思っ
てしまいます。七月には鎌倉で行な
われたビーチドッジボール大会にも
参加しました。今までにない彼らの
誇らしげな顔を見て、一緒に活動し
ていることに心から幸せを感じまし
た。実は子どもたちから大きな大き
な力をもらっているのです。

おとなの方を対象とした健康体操
やストレッチ体操も同様で、からだ
を動かすことはもちろんのこと、そ
こに集まる方が顔を合わせ話しをし
ることによって、お互いに「こころも
からだも元気になるのではないでし
ょうか?」

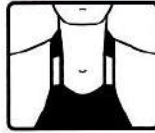
これからも人と人が関わり合う
ことを通して、こころからだの健
康づくりをしていきたいと思ってい
ます。

FRINGO®

FRINGOとは2003年ドイツで生まれたスポーツで、首と両手にかけたクロスをラケット代わりに、ゴム製のボールを打ち合い、決められた点数(1セット21点)を早く得点することを競います。クロスは伸縮性と反発力に富んでおり、ほんの少しの力で最大30mもボールを飛ばすことが可能。クロスでボールを跳ね返す、このバウンド感覚は最高です。

ニュースポーツ紹介コーナー Part 6

- ・体育館で、公園で、ビーチで、場所を選ばず楽しめます。
- ・ゴム製のボールで安全性が高く、子どもや女性でも安心して遊べます。
- ・小学生から大人まで、誰でも簡単に遊べて持ち運びも便利です。
- ・遊びながら適度な運動。上半身も下半身も使うのでウォームアップやトレーニンググッズとしても使えます。



クロス首にかけます



両手でクロス握ります



クロスでキャッチボール



オーバーヘッドも

コートと競技用具

1.コート

- ・コートはバドミントンコート(ダブルス)を準用する。
- ・コートサイズは長方形で1,340cm×610cmとする。
- ・区画線は4cmとし、長い側の区画線をサイドライン、短い側の区画線をエンドラインと呼ぶ。

2.ネット

- ・ネットはバドミントンネットを準用する。
- ・ネットの頂上線は水平で、コート面からの高さ155cmとする。
- ・ネットは両支柱間に、その全幅をコート面に垂直に、かつコートを2等分するように強く張る。

3.ボール(支柱)

- ・バドミントン支柱を利用し、高さ155cmとして使用する。

4.クロスとボール

- ・クロスとボールは日本FRINGO協会公認のものを使用する。



■主なルール

1.プレーヤー

- ・プレーヤーはシングルマッチ1名、ダブルスマッチ2名。
- ・補欠プレーヤーは無し。

2.役員

- ・役員は、主審1名、副審1名、線審2名または4名によって運営される。
- ・主審はネットの端から、ネットを見下ろす位置をしめる。
- ・副審は主審の反対側で、ネット下のコート外に位置する。

3.ゲームの勝敗

- ・1試合における競技セット数は3セットとし、2セット先取したチームを勝者とする。
- ・21点を先取したチームが、そのセットの勝者とする。
- ・両チームが20点を得た場合は、2点勝ち越したチームを勝者とする。
- ・ラリーポイントシステムで行う。

4.競技方法

- ・相手チームにスパイクやサービスを決められた場合、返球ミスまたは反則をした場合、ボールがクロス以外の場所に触れた場合、相手チームへポイントが入る。
- ・返球回数は、シングル1回、ダブルス最大3回。
- ・同じプレーヤーが続けてボールに触れてはならない。
- ・ボールの一部がラインに触れていればインボールとみなされる。
- ・コート内でのポジションチェンジは自由。
- ・サービスは自陣コート・エンドラインの後方、サイドラインの延長線内で行う。
- ・ネット上から相手コートに侵入してはならない。

■レクリエーショングッズとして

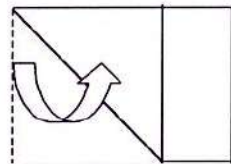
コートやネットを使わないレクリエーションルールもございます。

日本FRINGO協会は、競技スポーツとして、レクリエーションスポーツとしての普及活動に努めています。

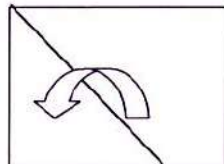
■問い合わせ先 日本FRINGO協会担当：橋本
TEL 078-332-7886 / <http://www.flingo.jp>



B5サイズの大きさ
ベスト



三角に折る

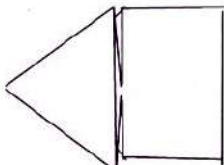


折り目を付けひらく

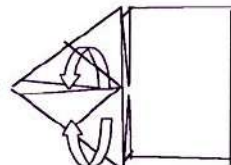


反対も同じように折り
目を付ける

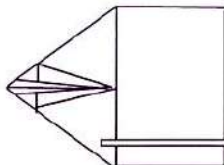
折り目に沿って
谷折り



ここが少し難しい

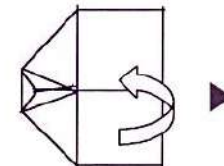


上の三角の部分折る

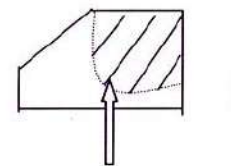


穴に
入る

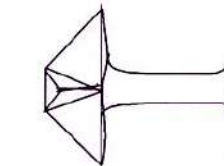
拡大



二つに折る



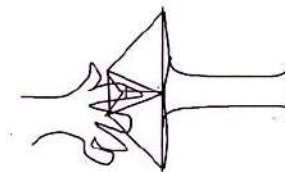
点線の所を両手で少しずつちぎる



出来上がりはこんな形

飛ばし方

ひとさし指、おや指、なか指で軽く挟んで野球のボールを投げるように上に向け飛ばす。



遊びのツバメ飛行機を作ろう
紹介
昔懐かしい紙飛行機です。

参加者募集中!

コミュニケーション

基礎講座

■第1回
「心は遊びを食べて成長する」
遊びは心にとの様な意味があるのか考え
てみよう

平成18年11月14日(火) 19時~20時30分
会場 県民活動サポートセンター(30)

■第2回

「遊びを自信につなげる工夫」
レクリエーション活動において振り返り
を有効に生かそう

平成18年11月21日(火) 19時~20時30分
会場 県民活動サポートセンター(30)

■第3回

「遊びにおけるトラウマ」
遊びを心の傷にしないためにリーダーは
何が出来るか

平成18年11月28日(火) 19時~20時30分
会場 県民活動サポートセンター(30)

講師: 鈴木公基氏
(鎌倉女子大学家政学部講師)

略歴: 茨城大学教育学部小学校教員養成
課程教育心理専修卒業
筑波大学大学院博士課程心理学
研究科心理学専攻修了・博士
(心理学)

◇参加費 1回 千円

〔事前に振り込みをお願いいたします〕

◇定員 40人

◇申し込み期限 10月31日(火)まで

〈問合せ先〉

NPO法人

神奈川県レクリエーション協会

研修担当: L.T (リーダーシップ・
トレーニング) 委員会

TEL 045-3200-2430

FAX 045-3200-0640

e-mail jim@kanagawa-rec.or.jp

アイスブレーキング

—アイスブレーキングの実際—

講師: 東正樹氏
(総合子どもの遊び情報研究室)

・全国子ども会連合会専門委員
・日レク協会・東京都レク協会専門委員
・日本オリエンティック委員会強化スタッフ
著書: 「レクリエーションゲーム全集」成美堂
「イベント出来書也」イベントの企画法
「イベント出来書也」イベントの種目
ヒント集

平成18年11月5日(日) 10時~15時
会場 県立体育センター研修室A/
B/C (体育館履き使用) 小田
急線善行駅徒歩5分

◇参加費 千円

〔事前に振り込みをお願いいたします〕

◇定員 40名

定員になり次第締め切り

※体育館履き・昼食をご持参下さい

※参加者には修了証を授与します

〈問合せ先〉

NPO法人

神奈川県レクリエーション協会

研修担当: L.T (リーダーシップ・
トレーニング) 委員会

TEL 045-3200-2430

FAX 045-3200-0640

e-mail jim@kanagawa-rec.or.jp

〔振込先〕 郵便局 記号 00220-2 番号 61541

県レク公認講師の方へ
講習会のお知らせ

来春早々「県レク協会公認講師の講習会」を開催します。
公認講師および新規に公認講師を目指す方は必ずご出席ください。

■第1回
平成19年1月14日(日) 13:00~17:00

■第2回
平成19年1月27日(日) 17:00~21:00

(会場) 横浜市内(予定)

新規対象者の方は、2日間参加
更新者の方は、どちらか1日だけ参加となります。

〈協会活動報告 7月以降分〉

★チャレンジ・ザ・ゲーム2006 INかながわ

7月1日(土) 県立スポーツ会館

★課程認定校事務担当者・教職員会議

7月1日(土) 横浜 崎陽軒

★レクリエーションインストラクター

7月1日(土) 計8回 養成講座

★公認指導者フォローアップ研修

7月6日(木) 県民サポートセンター等

① 7月6日(木) 県民サポートセンター

② 7月20日(木)

③ 7月27日(木)

★第2回委員長会議

7月14日(金) 県民サポートセンター

★スポーツ・レクリエーション大会

8月6日(日) 県立体育センター等 湘南会場

★第1回公認指導者フォローアップ研修

9月3日(日) 県立体育センター (おそびごころ 理論と実践)

★理事会

9月30日(土) 県立スポーツ会館

〈今後の予定〉

☆スポーツ・レクリエーション大会 県央会場

10月9日(月祝) 海老名運動公園

☆第3回委員長会議

10月17日(火) 県民サポートセンター

☆第2回公認指導者フォローアップ研修

11月5日(日) 県立体育センター

☆加盟団体事務局担当者会議

11月11日(土) 県立体育センター

☆課程認定校事務担当者教職員会議

12月1日(金) 横浜 崎陽軒

☆功労者表彰・新春のつどい

19年1月20日(土) 横浜 崎陽軒



八月雑感

あれっ、県の調査報告だいたい期限が過ぎてる。わるいな。／ええと日レクへも報告があったつけ、これはまだ間があるか。／あすの会議、出席者の交通費があるな。／スポレク大会の助成金早く配りたいな。／全国レク準備室に電話引かなきゃ。NTTだ。インターネットもいるぞ。FAX機はどうしよう。／資格者研修会、来週あるのね。ハイハイ経費用意します。／……三ツ沢公園の蝉たちの夏の大合唱も終章に入ったよ。うで。そんなこんなで八月もおしまい……。まだなにか? スコ

レの原稿! それにつけてもレクの風、カモメがはこぶ全国へ(と)

編集後記

記録的な豪雨により全国各地に大きな被害を出した今年の夏も終わり、いよいよレクリエーションに最適な季節が訪れました。第65号広報紙スコレでは新しい取り組みを行い、少しでも皆様にお役立ていただければと考えています。これからもご協力よろしく

お願いします。 涌井富士夫